

鶴ヶ島市内一斉気温調査結果報告 (2015年8月6日:簡易版)

平成27年11月22日
市民情報連絡会
クールスポット調査チーム

1. 調査経緯・目的

- (1) 今回の調査は、昨年に引き続き2回目の調査である。
- (2) 「広報つるがしま」に調査員の募集を掲載し、広く市民の参加を求め実施した。
- (3) 調査目的
 - 鶴ヶ島市全体の気温はどのような分布状況になっているか。
 - 市内のクールスポットはどこか。
 - 散歩コースの選定など市民生活に役立つ情報の提供
 - 観測データを公開し、まちづくり基礎資料として今後に生かす。
 - “気温”を通して環境を考える機会とする。

2. 調査結果

- (1) 観測日時 : 平成27年8月6日(木) 13時30分～14時の時間帯
- (2) 観測地点数 : 鶴ヶ島市内125ヶ所
- (3) 観測者数 : 95人
- (4) 参加団体数 : 30団体
- (5) 平均気温 : 37.6度
- (6) 最高気温 : 42.0度
- (7) 最低気温 : 30.5度
- (8) 樹林地、公園、神社、池等(22ヶ所)の平均気温 : 34.8度
- (9) (8)以外の平均気温(103ヶ所) : 38.2度
- (10) 最高・最低気温場所
 - ① 最高気温(42.0度)場所 : 共栄ニュータウン自治会集会場、学童保育なかよし
 - ② 最低気温(30.5度)場所 : 6号市民の森(高倉の森・水辺)

3. 調査結果概要

- (1) 125ヶ所の平均気温は37.6度となり、鶴ヶ島市の猛暑日の実態を計測することができた。
- (2) 昨年の調査結果(平均気温24.3度)と今年の結果(平均気温37.6度)を比べると、13.3度の違いがあり一概にはいえないが、全体的には市内の気温分布は昨年と同じような傾向になっていた。
- (3) 40度以上の場所は14ヶ所あった。一方、35度以下の場所は17ヶ所あったが、ほとんどが、森、公園、神社、池等の樹林地・緑地や水辺がある所であった。
- (4) 地面別の気温の差をみると、樹林地はアスファルトに比べ3.8度も低い結果となっていた。
- (5) 気温分布を地区(大字)別にみると、高倉、町屋、太田ヶ谷地区は他地区より低かった。
- (6) また、富士見、下新田、脚折町地区などの一部で気温の低いところは、市民の森、神社、池、公園、緑道等の存在によるものと考えられる。
- (7) 一方、42度の最高気温場所であった共栄ニュータウン自治会集会場、学童保育なかよしクラブや41度以上(5ヶ所)の気温が高かった場所は2015年8月6日の埼玉県、関東地区、日本全体の気象の現状がそのまま現れている結果であると思われる。
- (8) 今回の調査で最も気温が低かった場所は、高倉市民の森の飯盛川沿いの場所である。気温は30.5度と今回観測した最高気温42度の場所と比べると11.5度も低かった。低かった理由は、大規模な森と水辺の影響である。
- (9) 道路による気温への影響を見るため、国道407号線沿いの観測地点を増やし測定したが他場所との明確な気温差はなかった。
- (10) 街路樹や草地の表面温度(サーモグラフィ)測定結果
 - ① 道路に街路樹の木陰がたくさんある所と木陰が少ない所での道路表面温度は11度も差があり、街路樹の量的木陰効果は大きいことがわかった。
 - ② 土面道路と草地の表面温度差は8度あった。草地の気温への影響もかなりあることがわかった。

4. 調査成果

- (1) 今回の調査に参加された観測者数は95人であり、市民、市民活動団体、事業者及び市役所など多数の皆さんの協力のもと市民協働事業として125ヶ所の観測地点を調査することができた。
- (2) 樹林地や水辺等の「自然空間」は自然が持つ安らぎ・爽やかさを常に私達に提供してくれる場所であるが、それらの空間は夏場における気温を下げる機能・効果が非常に高いことを観測結果として再確認できた。
- (3) 調査結果を今後の鶴ヶ島市のまちづくりに活かす基礎資料として公表できた。

